新京日日新聞
夕刊
十二月廿九日金曜日
新京永樂町四丁目一番地
發行所 新京日日新聞社
發行人 編輯人 印刷人

舊吉林大學の地下室から 紙幣一千萬圓 だが全部燒却に決定

〔吉林國通〕死んだ匪賊の大頭目殷臣が恩山に埋めてある延棒五百萬

＝金の＝

圓の流言に師走吉を吹飛ばして居る吉林にこれは亦その上を行く一千萬圓の紙幣が地下室から飛び出したと言ふ景氣話……協和會吉林支部は今回獨立守備隊の假兵舍に當てられるところより北川軍曹他數名の兵隊さんが大掃除中鐵の扉で堅く閉された開かずの地下室をこじ開けて見たところ何と一ぱいに紙幣の入つた叺二十俵が積み重ねられて居るので驚いて憲兵隊に急報し取調べて見た處民國七年殖邊銀行發行の兌換券五圓十圓取雜ぜて約一千萬圓に見積られると言ふので二度驚吃、關係官廳協議の結果近く龍鑑公司のボイラーで燒却することに決定した、因みに協和會支部は事變前迄吉林大學の校舍であり、紙幣の出た部屋は法學部教室の地下室であると言ふが、何うして此

＝左様＝

な巨額の紙幣が藏されて居たものか當局では目下取調中である

製鐵大合同 年內に假調印 一月中旬迄に創立總會を まづ五社が參加

〔東京國通〕製鐵大合同問題に關し政府當局では八幡製鐵所をはじめ合同に參加するものと豫定せる民間八社の首腦部と連日協議交渉を進めてゐるが、民間八社の中には既に口頭を以て合同參加を表明してゐるものもあり、年內に各社別個に假調印を行ふ筈である、而して重役會で合同參加を決定し、年內に假調印を行ふものは富士製鋼、釜石鑛業、九州製鐵及び大阪製鐵の五社と見られてゐる、殘余の三社即ち輪西製鐵、東海工業、東洋製鐵は年內に假調印を了することは困難とされてゐる、從つて政府當局では右假調印を了したる上明年一月中旬迄には創立總會を開催して議會に望む方針を確立してゐると

日埃貿易協會 カイロ公使館設置を請願

〔東京國通〕日本、エヂプト兩國貿易振興の具体策に關しては豫て商工省側と民間當業者との間の結成に依り、當該貿易に寄與する事に意見の一致を見てゐたが右に關し廿七日午前、午後に亘り日埃貿易協會創立委員會及び同總會を開催、同協會設立に關する問題につき協議した、會同席上委員より緊急動議提起され、エヂプト、カイロ市に至急日本公使館設置方を關係官廳に請願することもなつた

在華紡 殆ど操業 船津理事語る

〔東京國通〕在華紡同業會船津總務理事は上海より滿洲經由二十七日上京、紡聯事務所で左の通り語つた
日支停戰交歩成立後在華紡は非常に好轉し夏迄八割操業だつたのが昨今は九割五分と殆ど全運轉に近い程だ綿布の賣行は良好となり、長江一帶から南洋、青島方面にも賣れてゐる

三井物産 鑛山兩社 社長制を廢止

〔東京國通〕池田成彬氏の入社以來三井合名會社では三井關係事業合理化と國民の財閥への感情緩和とのため諸種の計畫を樹てて來たが今回その一端として三井家の同族を三井關係事業會社の社長より退かしめて單なる取締役として在任するに決しそのため明年一月物產（社長三井守之助）三井鑛山（社長三井元之助）の兩社は定款を變更して社長制に變ふるに取締役會長制を布くことになつた、而して各兩社の取締役會長には安川三井物產常務、牧田三井鑛山常務が就任するものと觀られて居る尚三井銀行も同樣の方法を採る筈である

大藏省第二豫備金 百二萬四千圓 支出を發表

〔東京國通〕大藏省では二十八日勅裁を經て總額百二萬四千圓の本年第二豫備金支出を發表した

人民政府で第二次宣言發表 共產主義的なる第一次宣言の不評に鑑み

〔福州廿七日發國通〕人民革命政府は第一次宣言が共產主義の主張を其の儘にしたものとして不評を招きたるに鑑みこれを訂正する意味において廿二日附で大要左の如き第二次宣言を發表した

一、生產人民組織の獨立援助
二、生產人民政府の組織確立（各省の聯邦政權採用）
三、官僚政治の驅正
四、生產人民の一切の苦鬭改良
五、國權の恢復
六、南京反動集團を打倒してこれを清算し、人民政府を最高統轄とする聯邦組織化にて全國を統一する

稅關吏の腐敗暴露 毓大號の密輸

〔大連國通〕中國汽船毓大號の煙草密輸事件は左の如く稅關官吏の腐敗を物語つてゐる即ち營口稅關クラブは過般大連泰東洋行に高級煙草約三萬本價格六百圓を註文して來たので、同洋行は取引關係ある永七行商人組合中尾重三（五〇）をして右煙草を毓大號に托送せしめることとして船長家石重忠に情を明かし、船用煙草として虛僞の申告書を作成、營口稅關クラブに陸上げしたものである、從つて此の事件は營口稅關吏、家石船長泰東洋行、中尾重三四名の共謀による密輸脫稅行爲であつて當局は更に事實を追究中である

中銀南廣場支行 一月四日開業

滿洲中央銀行新京南廣場支行開設は本日附で總東廳より許可、來年一月四日より開業することとなつた、支行經理には本行副經理宮川正治氏が就任した、場所は南廣場舊交通銀行跡で支行開設により附屬地取引の便が圖られるので各方面より好評を博してゐる

吉林省に 体協縣支部設立

過般吉林省に行はれた討匪工作に依つて同地方の治安も整備を見るに至つたので滿洲國体育協會では吉林省支部統轄の下に延吉、敦化、寧安の三縣に縣支部を設けることになり、去る二十一日支部規約及役員を夫々決定正式に成立を見るに至つた、右支部は縣長を支部長とし全縣下の民衆体育運動を統一する官民合同の機關で從來主要都市を中心に發展しつつあつた体育協會が地方治安の確立によつてスポーツ普及化を圖る第一歩として注目されて居る

青島中日 屠場視察 宇戸脩次郎氏

新京屠畜場技術員宇戸脩次郎氏は既報のジャパン・ツーリスト・ビューロー主催の上海青島視察團參加のため二十九日新京出發、大連で同團と共に上海に向ふが上海四日滯在歸路青島で同團と離れて目下懸案中の新京附屬地屠畜場と城內屠畜場の合併屠場設立の際參考に供するため青島中日屠場の視察をなし二日間青島に滯在の上十日ごろ歸京の豫定である

本年度貿易概況 大藏省發表

〔東京國通〕大藏省發表十二月二十五日迄に於ける昭和八年度貿易概算左の如し（單位千圓）

輸出	一、八一四、〇四六
輸入	一、八六三、三九九
合計	三、六七七、四四五
入超	四九、三五三

日滿悲曲 生命線を行く

（禁上演上映）　國友雄吉
（荒川芳三郎畫）

（五十五）

危險の掲示札

俳一は、あわて、停車場へ引返して來た。が生憎、發車時間までには、大分、間がある。

今日に限つて、時間の經つのが格別遲いやうで、待合室に懸つてゐる、大時計までが憎らしいやうな氣がした。

その間彼は、堪へ難いその苦痛を紛らすために、只的もなく、其處らあたりを歩き廻つた。楠本はとみると、いつの間にか腰かけにもたれて、ウツラ〳〵と居睡りをやつてゐる。イラ〳〵してゐる俳一は、それにさへ腹立たしさを覺えて、いきなり怒鳴りつけてやりたいくらゐだつた。

しかも、いよ〳〵發車間際になつてから更にもう一つ、彼を困らせるやうなことが起つて來た。

それは、待合室に貼り出された掲示札であつた。その掲示札には、「危險につき滿洲里行の旅客は、一時旅行を中止され度し」といふ意味が記されてあつた。

それを見ると、俳一は、まるで狂氣のやうになつて、驛の事務室へ飛込んで行つた。そして、居合した旅客係の係員と、直接談判を始めた。

「滿洲里へは行けないんですか」

「行けませんね」

相手を日本人とみると、係員は殊更に「勿論」といつたやうな顔をした。

「なぜですか――?」

俳一は、稍急き込んだ。

「日本の方は、特に危險ですからなア」

「イエ、危險なんか、ちつとも構ひません。僕は、あちらに妻子を殘してあるんですから、早く行つて、救ひ出さねばなりません」

「ヘエ、あなたの奥さんと、子供さんが――」といつて、係員は、呆れたやうな、氣の毒なやうな表情をした。

「どうでせう。日本人の婦人や子供は無事なんでせうか――色んな風說をしてゐるやうですが――?」

俳一は、その係員に限らず、誰彼の差別なしに、さういふ質問を發してみたかつた。そして「婦人や子供は全部無事である」といふ嬉しい答へが聞きたかつたのだ。

たとへ、滿洲里へ行けないと言はれても、無事だとさへわかれば彼は、どんなに救はれるか知れなかつた。

「それが、またどうも、はつきり判らないんです。何分、電話が、不通になつてしまつてゐるものですから――」と、係員は答へた。

「電話不通――やつぱりさうなんですか」

俳一は、思はず太い溜息をした。若しも電話が不通になつたのは、若しも彼の想像した通り、支那兵に依つて、電話線を切斷されたものでなからうか、若しさうだとすると、從つて、その叛亂が、最初から計畫的に行はれたこと、そして如何に猛烈であるかといふ事を、想像するに難くないのであつた。

俳一の憂慮は、愈々に、深まつて行くばかりである。

「でも、僕は心配で、到底茲に、チツト留まつて居ることは出來ません。それがため、はる〳〵日本からやつて來たんですから――若し滿洲里まで行くことが出來なかつたら、せめて海拉爾までゞも行くことは出來ないでせうか――?」

海拉爾と滿洲里との距離は、近いといつても汽車で、五時間はかかる。しかし俳一は、其處まで行けば、もう一ト跨ぎのやうな氣がするのであつた。同じ立往生をさせられる位なら、ちつとでも近い海拉爾まで進めば、もう少し確な様子を知ることが、できるだらうといふ望みもあつた。

しかし彼は、心配でならないけれど、日本人虐殺などといふ恐ろしい風說を、全く信じてゐるのではなかつた。

「なあに、妻子や同胞が殺されるなんて、そんなことがあつて、堪るものか――」といふ信念が、心の一隅で一點の燈火のやうに、燃えてゐるのだつた。

皇太子殿下の御名
繼宮明仁と御命名
第七夜をお過ごし遊ばされ
けふ宮内省から

（號外再錄）

（東京發國通至急報） 宮內省發表＝本月廿三日午前六時三十九分御誕生あらせられたる親王御名を明仁と命ぜられ繼宮と稱せらる

（東京國通至急報） 萬民隨喜のうち、いとも御健やかに、早くも御七夜を迎へさせられた皇太子殿下には、今廿九日午前十一時、宮中に於て御命名の御儀を執り行はせられ 天皇陛下より「繼宮明仁親王」と御命名あらせられた

御健かに
御七夜の佳辰

（東京國通） 仰げば尊き日嗣御子の御降誕に、歡天慶地俄かに光明を拜して九千萬國民齊しく千萬無疆の御慶を壽き奉り歡喜の醉も未だ醒めやらぬに、皇太子殿下は早くも廿九日を以て御降誕第七日の佳辰を迎へさせ給ひ、御肥立彌が上にも芽出度く御健やかにわたらせられる、此日宮中奧に於ては陸海軍の皇禮砲殷々と轟き全國津々浦々に再び起る歡呼の中に、午前十一時いとも嚴かに御命名の御儀が執り行はせられ畏くも 御父陛下には御[illegible]位貴き 皇太子殿下の限りなき御幸を御祈念あらせられ、大御心を籠めさせられて御尊名を「明仁」御稱號を「繼宮」と親しく勅定遊ばされ、芽出度く御命名あらせられた、之より先、午前九時より大奧では床しくも古雅の限りをつくして晴れの御產湯を召させられる浴場の儀を行はせられ、又御命名と同時刻宮中賢所、皇靈殿、神殿におかせられては御命名奉告の儀を行はせられ、彌が上にも輝かしき御稱號を皇祖皇宗を始め奉り、天地神祇に御奉告せしめられ、御先々の御幸を御祈願せしめられた

大內山に瑞雲
各宮殿下お慶びの御參內

（東京國通） 輝やかしき皇太子殿下の御降誕に大內山の瑞雲は、絕へも切れず歡喜の中に迎へた御七夜の二十九日宮中にては特に御祝宴仰せ出だされたが

『瑞氣』再び濃く立ちこめて、午前十時頃には 皇太后陛下御使として竹屋典侍が鮮鯛一臺に白羽二重を添へた芽出度い品々を捧持して參內 天皇陛下に拜謁仰せ付けられ御祝詞を言上したが、午前十一時前後頃までには、秩父宮同妃、高松宮同妃各殿下を始め奉り久邇宮大妃殿下、御帶親閑院元帥宮殿下、其他各皇族方が相前後し御參內御祝詞を言上せられ、御祝品等の御贈答等あらせられた、續いて齋藤首相、倉富、平沼正副樞府議長以下各國務大臣、各國使臣其他の文武百官、相前後して參內、宮御車寄にて參賀の記帳をなし、退下したが、參賀の自動車は引きも切らず、坂下門から、乾門から、參內、終日御慶びに充ち滿ちた、尙皇太子殿下御降誕の御慶びの宮中御祝宴は宮中喪明け後二月の頃

『盛大』に催される御豫定の由承る

御命名奉告の儀

（東京國通） 御命名と同時刻宮中賢所皇靈殿神殿におかせられてはいとも森嚴なる中に御命名奉告の儀を行はせられ皇太子殿下御先々の彌が上にも御隆昌を御祈願せしめられた、此の日賢所にては三條掌典長、立花掌典次長以下奉仕して早朝より裝飾し午前十時卅分莊重な神樂歌の中に御開扉神饌を供し奉れば之より先式部官が宮殿から拜受した御名記、御稱號の御書しは立花掌典次長が捧じて賢所に參入掌典長に此の旨を告げ、かくて午前十一時三條掌典長は恭々しく皇太子殿下の御尊名御命名の由を御祝詞の中に奏し奉り終つて再び奏せられる神樂歌の中に撤饌閉扉こゝに御命名御奉告の儀は御滯り無く終へさせられた

畏し御墨痕も
鮮やか

（東京國通） 皇太子殿下に輝やかしくも 御父陛下が幸多かれと勅定あらせられた御尊名御稱號を賜はる御命名の儀は此の日午前十一時宮中においていとも嚴かに執り行はせられた、之より先午前十時半[illegible]る勅使の大役を仰付けられ鈴木侍從長は小禮服に儀容を正し奧宮殿、表祇候間に參入し同五十分に至れば、湯淺宮相は旨を承け大高檀紙二つ折りに 御父陛下が畏くもおん墨のご鮮やかに御認めあらせられた御宸筆の 皇太子殿下御名記御稱號を謹んで蒔繪の筥に入れ、更に柳筥に納め奉り、菊花御紋章を打抜きにしたおふくさに包みこれを參らせこれを勅使に授け勅使は恭しくこれを捧持して直ちに皇后の本宮に參進、待ち受けて居た廣幡皇后宮太夫は之を拜受して更に 袴姿の竹屋女官長に授け女官長は皇子室に參進し午前十一時三方にのせ奉つて皇太子殿下の御枕邊に上り御儀はこゝに芽出度く終へさせられ侍從長直ちに此の旨を 陛下に言上した

御胞衣
納めの儀

（東京國通） 御七夜の佳辰 皇太子殿下の御胞衣納めの儀は午前七時より、執り行はせられ、此の儀を承はつた皇后宮事務官は、御胞衣を納めまいらせた素燒の御壺を捧持して、宮城出門、赤坂離宮に至り、南隅寒香亭のほとりに、先營の御埋納所に埋め奉り香も高き淨土を盛り更に稚松を植ゑまいらせて午前七時半終はらせられた、此の一角には 御父陛下御胞衣をはじめ奉り 御姉宮各內親王殿下御叔父宮秩父宮、高松宮、澄宮各殿下の御胞衣も納められて居ると承はる

皇統譜に謹記

（東京國通） 輝やかしき皇太子殿下の御尊名は繼宮明仁親王と、畏くも御命名あらせられたが、御命名の儀を終へさせられると同時に湯淺宮相[illegible]書類とフロツクコートに儀を正して緊張の中にも恭々しく御尊名御稱號御父母昭和八年十二月廿三日午前六時卅九分宮城に於て御誕生、同廿九日御命名の旨を先例ある皇統譜に謹記し奉つた

古式床しき
御浴場の儀
御簾を隔てゝ讀書鳴弦

（東京國通） 皇太子殿下には此の日皇室親族令中誕生の式に定め給ふ所によらせられ、御命名の

『御儀』に先立つて午前九時より古式床しく晴れの御產湯を召させられる御浴場の儀を執り行はせられた、御浴殿に充てられた皇子室の一方には檜の香りも新しき白木の御浴槽に御溫湯がなみなみとたゝえられ、御靜かな御室に湯氣は白々と立ち上る中に袿袴の裝も雅かに女官は、白羽二重の御產衣を召され、丸々と玉の如く御肥立の 皇太子殿下を御抱き參らせ、竹屋女官長以下奉仕の下に、晴れの御產湯を奉つた、此の時淸淨を極めた同じ御室に御簾を隔てゝ此の晴れの御儀に奉仕を仰付られた光榮の諸役の讀書東大名譽敎授市村瓚次郎博士、同控東大敎授辻善之助博士は衣冠の裝束に書卷を捧じ・鳴弦の明治神宮々司有馬良橘大將子爵大給近孝氏、同控子爵松浦靖氏、同細川立興氏は衣冠單に矢を納めた笈を負ひ手には大弓を取つて候し、御浴湯はじめさせ給ふや、先づ市村瓚次郎博士書卷を繙き、朗聲高々と、古典中最もめでたき一條を拜誦し奉り、鳴弦の諸氏『オー』と和唱し滿を持して引きしぼつた

『弓弦』をひようとばかりに放つて一步退き、勇ましき鳴弦の餘韻消えやらぬ中に讀書鳴弦は二度繰り返へされ斯くて惡鬼退散、文武の御隆盛の意をこめた床しくも雅びやかな御儀は九時四十分頃終へさせられた

御名御稱號の御典據につき
宮相謹んで語る

（東京廿九日發國通） 湯淺宮內大臣は本日の御命名式を奉祝して左の如き謹話をなした

皇太子殿下御命名の御儀は本日宮中に於て嚴かに行はせられました、謹みて案ずるに御名を明仁と申上げ、御稱號を繼宮と申上ぐる事に御勅定相成りましたことにつきましては其の典據は明治三年正月三日御煥發せられた御詔に採らせられましたものと拜察致します

詔の首章に

「朕恭惟天神天祖立極垂統列皇相承繼之述之祭政一致億兆同心治敎明于上風俗美于下」と仰せられた中に「繼之」とある繼の字と又末章に「宜明治敎以宣揚惟神之大道也」と仰せられたる明の字とに基かせられたるものと拜察し奉るものであります（以下略）

聯盟陸海空軍常設諮問委員會の
我代表隨員被免さる

（東京國通） 國際聯盟陸海空軍問題常設諮問委員會に派遣中の我代表、隨員は本日被免され左の如く發表された

一陸軍少將 森山宜
聯盟陸海空軍問題常設諮問委員會
帝國陸軍代表被免
海軍少將 洪 泰夫
國際航空委員會帝國代表被免
同聯盟海代表被免
騎兵中佐 西原一策
步兵中佐 田村義富
同聯盟陸軍隨員被免
海軍大佐 岡敬純
海軍少佐 柳澤藏之助
同海軍隨員被免
騎兵中佐 西原一策
海軍少佐 柳澤藏之助
同空軍代表隨員被免

武富敏彥氏
和蘭公使に任命

（東京國通） オランダ公使に決定した武富敏彥氏に對するオランダ政府のアグレマンは廿八日外務省に到着したので同日附を以て左の通り任命された、尙同氏の後任も同時に發令された

任特命全權公使 大使館參事官 武富敏彥
被仰付和蘭國駐剳
大使館參事官 藤井啓之助
被仰付米國在勤
被免獨逸在勤

我が方針決定
印度の禁止的關稅對抗策
日印會商の目鼻つき次第

（東京國通） 印度政廳が去る廿三日拔打的に雜貨に對し禁止的高率關稅を實施した事は我民間當業者に多大の打擊を與へるものとして關西方面の當業者は主管省たる商工省に善處方を陳情するところあつたので、吉野商工次官は廿八日午前十時黑田貿易課長と共に外務省に赴き、來栖通商局長と協議、正午散會したが今回の雜貨新從量稅賦課は近年躍進的輸出をなしつつある我雜貨を意識的に狙ひ打ち、その蒙る損害は各國共通なるも事實は殆んど日本品なるに鑑み、十二分の對策を決定、一應緩和の抗議を提出したる後日印會商成立の目鼻がつき次第來春早々同等か適當な方法に依つて交涉を行ふに非ずやとみらる

關東軍の
新年行事

關東軍司令部の行事は左の通りである

元旦（四方拜）午前九時三十分菱刈司令官始め司令部全員並に在京部隊長は軍司令部に參集新年祝賀式及び御眞影奉拜を行ひ午前十時食堂內で祝杯を上げる、尙零時零分軍首腦者は執政府に溥執政を訪ひ新年の挨拶を述べる

二日司令部全員登廳する
三日休日（元始祭）
四日司令部全員登廳する
五日休日（新年宴會）
八日休日（陸軍始）

三十日關東軍
御用納め

關東軍司令部は三十日を以て御用納めにつき午前十一時司令部員在京部隊長は司令部に參集、代表小磯參謀長は菱刈司令官に年末の挨拶を述ぶることになつて居る

記事訂正

貴紙十二月二十九日附朝刊二面記載の牛及び小生の家庭に關する記事中その原因が先妻の子供が異るためとあるは全く事實無根にして本人は酒癖のため暇を出されたのを子供が父に中傷したものと誤解した結果なること事實なるをもつて御訂正相成度候

仲本正秀

米議會に提出さる
大建艦計畫の內容
＝總裁一〇二隻を新造＝

（ワシントン二十七日發國通） 米國海軍當局は新春早々開會される議會に對しロンドン海軍條約所定の限度迄米國海軍力を擴充し、英國海軍との實質的均等を確保すべく來る一九三九年迄に新艦及び代艦合計一〇二隻の大建造計畫を提出するに決し目下同案の最後的整理を企てて居る、右計畫案は二個の決議案より成るものでその內容は左の如し

決議案

△第一、ロンドン海軍條約並に今後米國が締結することあるべき軍縮條約の限度迄海軍力を充實する權限を與ふ

△第二、大統領に對し右に依つて充實せる海軍力を絕えず獲得すべき權限を與ふ

右計畫案による全海軍力の實現には一九三九年迄に合計一〇二隻の新艦を建造することを要しその每年平均は約二十二隻に當る右の中一九三四年の建造計畫は左の通りである

驅逐艦又は嚮導驅逐艦二隻、驅逐艦十二隻、八吋砲巡洋艦一隻、六吋砲巡洋艦二隻、潛水艦四隻、因みに米國海軍省は既に今春の議會に於て協贊を得た既定計畫に基き公共事業資金の支出による二億三千八百萬弗と通常海軍四千六百萬弗の合計二億八千四百萬弗を以て五十四隻の新艦建造に着手若しくは建造の契約濟にて之を新計畫と合すれば實に今年度より一九三九年迄の滿六ケ年間に合計實に百五十六隻の新銳軍艦を建造し一擧にロンドン海軍條約所定の水準迄その海軍力を充實し英國海軍と名目上均等の勢力となり實質的には遙かに之を凌駕することとなる

我當局注視

（東京國通） 米國海軍當局の來議會に提出すべき新海軍建造計畫案に關して、我海軍當局は單に米國は既定方針に向つて進んでゐるのみであるとなし、一切の批評を避けてゐるが、この米海軍建造計畫に對しては我海軍當局も可成りの關心を持ち、この計畫實行の前途を注視してゐる

傳染病を始め
入院患者減る
お正月を前に退院が續出
此頃の新京醫院

一時赤痢患者だけでも百名を突破した新京滿鐵醫院の現在患者を見ると外來九百五名、入院二百九名、傳染病は腸チブス十二名、赤痢三名、猩紅熱五名、その他一名、合計二十二名に過ぎない、事變いらいますます人口が增加したに拘らずかうした患者の激減振りは全く珍らしいことでこれは第一に氣候の關係にもよるが入院患者の減少（普通三百名內外）はお正月を控へて重症患者でない限りなるべく退院して家庭で越年しやうといふ向もあるからであらうと同醫院では語つてゐる

新京に於ける
十二月分小賣物價速報
關東廳調査課

新京に於ける昭和八年十二月分の小賣物價を同月十五日現在に依り調査するに其の概要次の如し

一、騰落割合（重要品目三十六種に付算出）

前月に比し保合

前年同月に比し八分九厘騰貴

昭和五年一月に比し指數九八、六即ち一分四厘下落

昭和六年十一月に比し指數一三三、二即ち三割三分二厘騰貴

二、品類別に依る指數を示せば次の如し

品類	前月を一〇〇とス	前年同月を一〇〇とス	昭和五年一月を一〇〇とス
食料品（十種）	一〇三、六	一〇三、八	一〇二、五
調味料（九種）	九六、三	一〇四、三	八六、三
嗜好品及飲料（八種）	一〇〇、〇	一一五、七	一一〇、四
衣料品（七種）	九九、一	一一八、八	七七、六
燃料（二種）	九九、一	九九、一	九八、九
總平均（三十六種）	一〇〇、〇	一〇八、九	九八、六

三、騰落品目（調査品目五十九種中前月に比し騰落したるものを掲ぐ）

騰貴 四種

澤庵、內地物（八分三厘）、牛肉（六分七厘）、豚肉（六分七厘）、鷄卵（五分二厘）

下落 四種

味噌、滿洲物（一割四分三厘）、石油（一割四分）、金巾（六分二厘）、木炭（三分八厘）

保合五十一種

年末年始休刊のお知らせ

年末年始本紙は二十九日發行夕刊を以て納刊、新春は二日、三日休刊、四日は夕刊のみ、五日新年宴會につき休刊六日より平常通り發行致します

人事往來

▲長澤大佐（飛行第〇〇隊〇〇隊長）二十八日午後三時二十五分齋哈市から同日午後四時三十分發公主嶺へ
▲牧野少將（飛行隊長）二十八日午後七時三十分着奉天から
▲土肥原少將（奉天特務機關長）二十八日午後五時着奉天から滿洲屋投宿
▲岡本中佐（第〇〇團參謀）同上
▲岡中佐（關東軍司令部附）同上
▲秋山大佐（步兵第〇〇隊長）同下
▲白石大佐（飛行第〇〇隊長）同上
▲袁金鎧氏（參議）同上大連から
▲中山少將（騎兵第〇〇團長）廿九日午前七時着奉天から
▲リンドフイリヤ氏（ソ聯通商代表）廿九日午前七時着奉天から同日午前八時三十分發哈市へ
▲德[illegible]氏（京師憲兵隊司令官）同上
▲土屋大佐（關東軍司令部附）同上
▲三多氏（滿洲電信電話副總裁）廿九日午前九時發奉天へ

團體

▲海軍大學々生廿五名二十九日午後一時五十五分着三十日午前八時三十分發哈市へ

けふの御命名式を壽ぐ

拭はれた雪の街に 全市奉祝の渦湧く

本社の號外に御名を稱へ 新京の行事終る

けふこそ吾等滿民齊しく待望中上げた　皇太子殿下御降誕を壽ぐ御命名式の日である、この日朝來小雪さへ降りまじり酷寒身に泌む裡にも奉祝氣分は全市内に滿ちくて逸早く配達された本社の號外に全市民更に重なる喜びにひたりながらけふの日を迎へたのであつたが新京神社に於ける奉祝式について西廣場小學校講堂に於ける官民合同の大祝賀會が催され、いづれも稀有の大盛況を見せ引續き奉祝旗行列がえんくく長蛇の陣をなし奉祝の歌も高らかに市内を練り歩き、こゝにけふの奉祝行事は全市民熱誠溢るゝ感謝と感激のうちに未曾有の盛況裡に芽出度く終了したのである

嚴かな奉祝式

皇太子繼宮明仁親王殿下御命名式當日の新京神社は既報の通り午前十一時から、御降誕奉祝式がけはれた、境内は前日から降り積つた白雪できよめられてゐる、定刻二十分前イの一番に參詣したのが荒木新京地方事務所長、續いて沼田中佐、秋山中佐、宮脇少佐、小林少佐、山内少佐、滿洲國代表遠藤總務廳長、大原議長、總領事代理四戸在鄕軍人分會長、小澤第五區長、聯合婦人會長、各學校長その他約七十名の參[illegible]者あり定刻十一時井上神官が四名の社官を隨へ祓式に續いて開扉、祝詞の順に式は進められ十一時三十分閉扉退場した

西廣場校の祝賀會

皇太子殿下御降誕奉祝祭祝賀會は西廣場小學校講堂で開催菱刈關東軍司令官を始め吉澤總領事その他日滿要人、在京各學校長、在京各團体、町内有志五百名列席定刻正午開會君が代合唱、吉澤總領事の奉祝の辭あつて萬歲を三唱後祝宴に移り午後零時四十分目出度終了して直ちに、次の旗行列に參加のため一同は再び新京神社へ向つた

賑かな旗行列

一般市民も多數參加

熱誠溢るゝ大行進

けふの御命名式を壽ぐ奉祝旗行列は午後一時を期して新京神社を出發、これより先き同行列に參加すべく各中等學校生徒、各初等學校兒童を始めその他各種團体、一般市民ら續々と詰めかけ定刻前神社境内は身動きもならぬ盛況でその數實に六七千名以上にも及んだがかくて賑かなバンドにつれ一同それぐく小國旗を打ち振りながら青年訓練所を先頭に室町校、普通校、西廣場校、公學校、高女、中學、商業の各學校それに一般市民があとに四列側面縱隊を以て盛大極まる行進が始まつたが、同行列は神社から中央通、吉野町日本橋通を經て朝日通に至り總領事館に入つて萬歲を三唱かくて新京市民が待ちに待つた奉祝行事も終始愛國的熱誠に溢れてこゝに芽出度く終りを告ぐることゝなつた

盛況だつた けふの祝賀會

菱刈司令官も出席

西廣場小學校講堂に於ける祝賀會は總領事館並に地方事務所主催の下に奉祝式に引續き二十九日正午から開かれたが菱刈軍司令官、小磯參謀長、岡村同副長小林海軍部司令官など軍部各將星をはじめ吉澤總領事、荒木地方事務所長その他在京各機關代表、滿洲國側から鄭總理以下各部總長、日系官吏その他一般官民ら凡そ五百名參加して一同着席まづ地方事務所稻葉庶務係長開會を宣し、一同嚴肅裡に君ケ代を合唱しての吉澤總領事起つて恭しく奉祝の辭を述べるところあり、一同限りなき歡喜に浸りながら互に祝盃を交はし宴酣なる頃、菱刈司令官の發聲で天地も轟くばかりに　天皇、皇后兩陛下並に皇太子殿下の萬歲を三唱し約一時間にして散會した

チヽハル○○團 遙拜式を擧行

（チヽハル國通）當地○○團司令部にかては二十九日御命名式の當日午前九時より各部隊毎に遙拜式を擧行することゝ

高波將軍に 感謝の晩餐會

（ハイラル國通）高波○團長の近衞師團榮轉に當り、當地日滿蒙白露各官民は將軍が入城後コロンバイル和平實現に盡力されたる功勞を感謝すると共に送別を兼ねて歡送晩餐會を二十七日午後六時より當地德厚福飯店で開催したが、官民百五十余名出席し、稀に見る盛會裡に八時散會した、席上高波少將は

私がコロンバイル地方治安維持の重任を帶びて來海以來茲に一年、其の間省長始め各官民がよく皇軍と協力し治安維持、文化向上、產業開發等に努力せられ現在の如き安全樂土を實現せられしは眞に同慶に堪えないところである

と挨拶した、之に對し出席者の半數以上を占めた滿蒙白露の各代表者は心からなる感謝の演說をなし、一般の注目を惹いた

初日の出を拜するつどひ

千三百年日本古都に傳はる 不滅の火で御神火

新京に於ける元旦劈頭の行事なる「初日の出を拜するつどひ」は吉例により午前七時（新京日の出時刻七時十四分）西公園誠忠碑前にて行はれる尙は同日は早曉五時半より誠忠碑前の大篝火台に御神火を焚いて初日の出を待つがその種火は奈良法隆寺奧殿に千三百年前聖德太子が献ぜられた「不滅の燈明」の火を先般西田天香氏が捧持して來滿したものを以て點火されるので元旦の祝物ゞ慕ろにふさわしい目出度い神火で市民隨意に木炭なりタドンなりを持參して移し火を得られたいと

かくて初日は

日本から滿洲國へ

百八の除夜の鐘の音が、夜の靜寂を破つて鳴り渡り、一夜明くれば、非常時乍ら皇太子殿下御降誕の喜びを包んだ

=東天= に初日の出を拜し、いよいよ、昭和九年元旦の朝となる、除夜の鐘を衝き終つた寺々では、朝の勤行を行ひ、參詣者と共に佛陀の前に百八の煩惱を清算して誕生した一年を暮すことを誓ひ、新京神社でも、午前五時から四方拜式を行ひ、午前六時二十分數

歡喜の八年から 光明の昭和九年へ

歲末から新年へかけての 慌しい新京の街

越すに越されぬ大晦日、三十一日、夜三更に至るまで提燈を燈して集金に馳け廻つたり借金取りを逃れて逃避したり、幾多のナンセンスを書き乍ら酉年から戌年に一夜の中に變るのであるが、サテ大晦日はどうして暮れて行くか

湯屋、質屋、理髮、美容師などは あけ方まで徹夜

先づ三十一日午後三時半から新京神社で大祓式が執行され一年間の凡ての穢れを祓つて午後七時から市民一同

=參列= の上除夜式が行はれ、長春寺、西本願寺、高野山金剛寺、大正寺、東本願寺では午後十一時から除夜の勤行がある、美久仁湯月の湯は午後二時から、朝方の四時まで、湯を沸して舊年の垢を洗ひ、新京キネマ長春座は休館して正月興行の準備や飾附けを行ひ、商店は正月の品物を賣つたり集金で、一晩中働き通し市內の各銀行は年末金融の便を圖つて三十一日は午後六時まで

=營業= を行ひ、泣いても笑つても越さねばならぬ年末の資金を貸付ける、又質屋は一年中の書き入れ時とばかりに遣り繰り算段の質草を手に算盤をはじき、一晩中入質者と馳け引きをする、理髮館や結髮美容術師も同じく押し寄せる客を相手に、一晩中徹夜して鋏やバリカンを動かし、料亭カフエーは、年忘れの客、借金逃れの客を相手に一年最後のヨリをかけて深更三時頃まで營業し、中には明しの客もあつて一晚中最後の一日を働き通す、本社始め市內の各新聞社では、新春を彩る豪華版新年號の

=初刷= りを行ひ、一年間の仕事を終る、かくて慌しく戌年を迎へんとする三十一日夜は新京署員三百餘名の第三期特別警戒の中に更け午後十二時から西本願寺の市中唯一の大鐘樓で百八の煩惱を清算せよと、衝き鳴す除夜の鐘の音と共に、遂に酉年の昭和八年は戌年の昭和九年元旦の朝を迎へるのである

化聯盟主催の國旗揭揚式が境內で行はれ、次いで、午前九時から市民參列の上元旦祭が行はれ、神の御加護に新年の御慶と、新[illegible]中の神の御加護を

=新念= する、かくて人々は各家庭にあつて若水に身を清め神酒をあけて家內一同雜煮を祝ひ、インクの香新しい本社の豪華新年號を讀き、料亭カフエーは午前十時から一同揃つて年始を祝ひ、藝妓は十一時から各料亭別に彈きぞめを行ひ藝道の向上を願ひ、各學校では午前十時から「年の始めのためしとて」と新年を壽ぎ、終りなき世を謳ふ、銀行會社、官廳はもとより、市中商店、風呂屋、理髮館美容師は凡て休業して午後零時半から西廣場小學校講堂に於いて官民合同新年互禮を交して、兩陛下萬歲を

=三唱= それより、知己、友人間の家庭的互禮を交す、一方鐵道、郵便局、警察は勤務に差支なきもののみが集つて互禮會を行ひ、子供は羽子つきや、カルタに興じ、大人は長春座のサウンド版「いろはにほへと」「敵への道」「あわて者の熊さん」や新京キネマの正月映畫に興じたり、天下晴れて、お目出度ふお目出度ふで回禮して元旦一日は終る、尚朝風呂は美久仁、月の湯兩湯共二日午前七時から一週間午後三時まで營業する

お正月の天氣 まづく滿足

だが寒さは酷い

新京のお正月中の天氣は果してどんなものだらう新京觀測所では次の如く天候の豫想談をしてゐる

二十七日夜來の雪は北支方面にあつた低氣壓が漸次東進してちようど二十八日朝ごろにかけて新京を過ぎて二十八日午後二時ごろその低氣壓の

=中心= が吉林方面にありますこの低氣壓は尙東進して日本海に出てオホーツク海方面に出るでせう、二十七日晩大連方面は雪で二十八日夜中から朝にかけて滿鐵沿線はズーツと雪で新京邊りが境界點です、哈爾賓、齊々哈爾方面は降つてゐません、二十八日は吉林、北鮮方面はいづれも雪で內地は九州が雨で本土は曇りです朝鮮は北半は雪で南半は雨です、この分で行けばこの惡い天氣も二、三日したら晴れてお正月ころは天氣恢復して

=快晴= になるのではないかと思ふ、たゞその代り寒さがひどくなるだけ

前借踏倒し 藝妓捕はる

奉天十間房料亭金鵬亭抱へ藝妓金松こと村松ヨシ（二四）は大阪市西區中野町一丁目二十二番地貸座敷業西村金三郎（三二）同上井上安太郎（三二）同紹介業白錦安（三八）と共謀し前借二千圓を踏み倒し新京に逃走し三笠町常盤旅館に潛伏中を奉天總領事館署の手配で新京總領事館署谷口刑事に取押へられた

滿洲國體育協會

縣支部を設立

吉林省では討匪工作によつて地方の治安も着々整備するに至つたので同省では滿洲國体育協會吉林省支部統轄の下に延吉、敦化、寧安の三縣支部設立が具体化し本月廿一日体協本部に對し該三縣支部規約及役員の申請中であつたがこの程原案通正式に認可されたこれによつて國內主要都市を中心に發展の一路を辿りつゝあつた滿洲國体育協會も治安維持の進展に伴ひ漸次地方に及び國家興隆に反映すべき滿洲國王道スポーツへの一步をふみ出した譯でその前途を大いに期待されてゐる因に該三縣支部は共に各縣長を支部長とする全縣下民衆体育運動を統一すべき官民合同の機關で今や全國諸縣でも樂土建設は『スポーツから』のスローガンの下に各支部設立の機運が濃厚となつてゐる

街の日記

首都警察廳 本年掉尾の不良狩

首都警察廳に於ては第一回の不良狩に於て相當効果を擧げたるに鑑み更に昨二十八日午前九時より十一時迄本廳及市內各署一齊に第二回の不良者狩を實施即ち身体健康なるにも不拘一定の正業を有せず又一定の收入もなく資產もなくして無爲徒食し公安を害する虞れあるもの檢擧を試みたる結果、其各署別の成績別表の通りにして其の內首都警察廳に身柄を送致したるもの者百三十八名であるが此の內には相當大物もある樣であるから司法科員は年末休暇中であるにも不拘晝夜兼行之が取調に當つて居る

不良狩檢擧成績表

署名	檢擧數	留置數
長通路	九十七名	六十二名
大徑路	二十五名	十七名
四道街	二十九名	十七名
南關	三十五名	二十七名
司法科	二十名	十五名
計	二百〇六名	百三十八名

寄附

大森典吉氏は今回內地歸還に際し子息の在學記念として金十圓を室町小學校へ寄附

▲朝鮮銀行支店出丸常一郎氏は鄙們轉勤に際し金二十圓を室町小學校父兄會へ金十圓を同幼稚園へ寄附

落しもの

▲曙町三丁目二番地星野紹店員が二十八日午後一時ごろ新京郵便局から歸宅中四角ノ木印一個（星野）を落した

居住消息

▲春日三雄氏（宮崎縣）[illegible]から平安町三丁目四號ノ一へ

▲內田延芳氏（福岡縣）中央通り四十一番地榊谷方へ

▲直木倫太郎氏（兵庫縣）老松町十六番地ノ一二へ

▲中川秀盛氏（鹿兒島縣）錦町二丁目六號へ

▲相馬春雄氏（熊本縣）同上

▲中川幸三郎氏（宮崎縣）同上

▲森永進氏（熊本縣）同上

▲友田政信氏（熊本縣）同上

▲高岡幸雄氏（宮崎縣）同上

▲津崎俊勝氏（熊本縣）同上

▲上村茂義氏（鹿兒島縣）同上

▲船本又喜氏（熊本縣）同上

▲富永榮喜氏（長崎縣）大和通三番地へ

日蝕と月蝕 來春早々

本月廿日夜は土星と金星のラブシーンによつて三三年天界末尾の豪華版をみせ御降誕の皇太子を星宮さへあがめ奉つたが三四年は新春早々月蝕と日蝕がつゞいてあるといふこれ又近來稀有の現象である

月蝕は一月三十一日午前零時一分から同一時二十四分までの間で今回は下弦約十分の二の部分蝕である、日蝕は二月十四日午前七時四十一分から同八時五十九分までの間で月蝕同樣に分蝕である

ラヂオ

三十日（土曜日）新京

午後五時〇分　子供の時間（奉天より）　お話「機關銃發明者マキシム」

同　五時三〇分　演藝（レコード）

同　五時五〇分　ニュース（鮮語）

同　六時〇分　ニュース（東京より）

同　六時二〇分　ニュース　氣象予報

同　六時三〇分　講演又は演藝（東京より）

同　七時〇分　演藝（滿語）　西群仙　佩芝

同　七時三〇分　講演（滿語）「關於最近之治安狀態」首都警察廳總監　佟長餘

同　八時〇分　ニュース　氣象予報・プログラム予告・（滿語）

同　八時三〇分　時報　ニュース（東京より）

同　八時四五分　演藝

三十一日（日曜日）新京

午後五時〇分　子供の時間（奉天より）　お話　劍道のお話　茶谷恒春

同　五時三〇分　演藝

同　五時五〇分　ニュース（鮮語）

同　六時〇分　ニュース（東京より）

同　六時二〇分　ニュース　氣象豫報

同　六時三〇分　講演（東京より）

同　七時三〇分　演藝（滿語）　蓮香班　荷花

同　八時〇分　ニュース　氣象豫報プロ豫告（滿語）

同　八時三〇分　時報　ニュース（東京より）

同　八時四五分　講演（奉天より）「歲末所感」平山奉天取引所長

第十八期決算公告

貸借對照表

資產之部 勘定科目	金額
拂込未濟株金	[illegible]
貸付金	[illegible]
銀行預金	[illegible]
什器	[illegible]
有價證券	[illegible]
假拂金	[illegible]
未收利息	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
現金	[illegible]
合計	[illegible]

負債之部 勘定科目	金額
資本金	[illegible]
法定積立金	[illegible]
別途積立金	[illegible]
未拂配當金	[illegible]
借入金	[illegible]
再割手形	[illegible]
未經過再割引料	[illegible]
當期利益金	[illegible]
合計	[illegible]

損益勘定

利益之部 勘定科目	金額
收入利息	[illegible]
合計	[illegible]

損失之部 勘定科目	金額
支拂利息	[illegible]
支拂再割引料	[illegible]
營業費	[illegible]
當期利益金	[illegible]
合計	[illegible]

右之通り相違無之候也

損益計算

一金一百十六圓十九錢也　前期繰越損失金

一金七十一圓二十七錢也　當期利益金

差引損失金四十四圓九十二錢也　後期繰越

右之通り候也

昭和八年十二月五日

長春　日華金融株式會社

慶安異聞 艶魔地獄

(銀幕上演映畫化)

玉水三郎 作 長谷川小信 畫

(百三十四)

醜聞 (六)

お八重も嗜みはある。小唄など囀つたり彈いたりした。

お瀧は兄とお八重との仲を取持つやうに、盃の獻酬をさせて、自分も頻りに囃つてゐた。

一しきり騷ぎが靜まつた時、三味線借りた家の、小母さんなる者が、戸外から聲かけた。

「お瀧さん、少し話があるから、手間は取らせないが、ちよつくら來てお吳んなさいよ」

お瀧は「ハアーイ」と言つて、直にお八重に向つて、

「あの向ふの小母さんは、此近所の小さな女の兒を集めて、唄や三味線を敎えてゐるんだよ。兄さんが獨り身だから、いつもあの小母さんに厄介になるのさ。私ね、ちよいと行つて來るよ。何かお菓子でも買つて……」

お八重は一人置いて行かれる事を、非常に迷惑に思つた。

「お瀧さん、私もう大變醉ひましたから、歸りますよ……アヽ醉つた」

「八重ちやん、歸りは一緒だよ、ちよいとの間だから待つてゐてお吳れよ。私直ぐなんだから……」

それをも拒み得なかつたお八重は、やむなく、

「ぢや早くね、私もうヂッとしてゐられない程、醉つたから……」

皆まで聞かず、お瀧は家を飛んで出て了つた。

兄なる人は、舌舐めずりして、盃二つ三つすると、

「ねえお八重さん、何もそんなに固くならなくつても可いぢやねえか、マア醉をして吳んな」

「ハアお醉はしますけどもね、私もう醉つて了つて……」

「アッハヽヽヽ、初心な娘か何ぞのやうに、そんな恥かしがる事はあるめえ。夜毎に變る枕の數吉原の花魁ぢやァねえか」

「イエ、昔は昔、今は今」

「何を言つてるんだ。今だつて松茶屋の姐さんぢやねえか。堅ツ苦しくする事はねえや」

お八重の手を取つて、グイッと引附けた。

「アレ御冗談なさいますなよ。お瀧さんがもう歸つてゞす」

「歸つたつて可いぢやねえか。何も之が主ある花といふぢやなし、お前も獨り身なら乃公もやもめだ、マア好い相談にならうぢやねえか」

「御心切は有難うございますが、私は死んだ父や姉に對しまして、浮いた心は出せませんのです。茶屋女をしても心から茶屋女にはなりたくないと思つてゐます」

「成る程なア、好い心掛けだ。お八重さん聞けばお前は、唐犬權兵衞の妾になつてゐたといふぢやねえか」

「飛んでもない事被仰いますな。表向きだけは、唐犬の姐御とも言はれてゐましたが、仲に立つた久米の平內先生始め、それ〲立派なお方の手前、私と唐犬の親方の仲は、眞個に綺麗なもんでござんす」

「アッハヽヽ、何とでも言つて置くが可いや、鬼も角乃公も此湯島で十丁以內の繩張りを持つ、親分の三五郎だ。斯うして口から出した以上、嫌だと言はれても、諾つて跡へは引込めねえんだ。オイお八重さん、何と乃公の女房になる氣はねえか」

鼻息ふん〲、お八重を抱締めて離さなかつた。

十二月二十三日 土曜 庚申 赤口 破 胃宿

●一白の人 地位に不滿あるとも人和を求むれば吉なり 辰と癸と丑が吉
●二黒の人 屈するは伸ぶるの準備と思ひて自重せば吉 乙と丁と庚が吉
●三碧の人 利害得失を研讃して着手せば過つことなし 坤と申と寅が吉
●四綠の人 苦勞も一つの修養と思ひて耐忍するがよし 壬と子と癸が吉
●五黄の人 八分目の力を以て事に當れば咎なし 丙と丁と亥が吉
●六白の人 誘惑の手が身に觸ることも應ぜざれば安全 甲と丑と寅が吉
●七赤の人 內を能く整理する時は外は自ら順調となる 乙と丙と亥が吉
●八白の人 極上の氣運に會せし日 名弘開店婚儀金談吉 丙と丁と辛が吉
●九紫の人 氣運滯りて萬事埒開かず進めば挫折する日 戌と亥と癸が吉